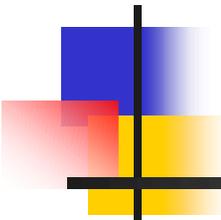


新生医療技術産業戦略コンソーシアム (METIS)の立ち上げにあたって



厚生労働省医政局長
岩尾 總一郎

医療機器産業ビジョンの着実な実施

平成14年12月

事務次官をトップにした「医薬品・医療機器産業政策推進本部」を設置

平成15年3月31日

医療機器産業ビジョンの策定・公表

平成16年4月30日

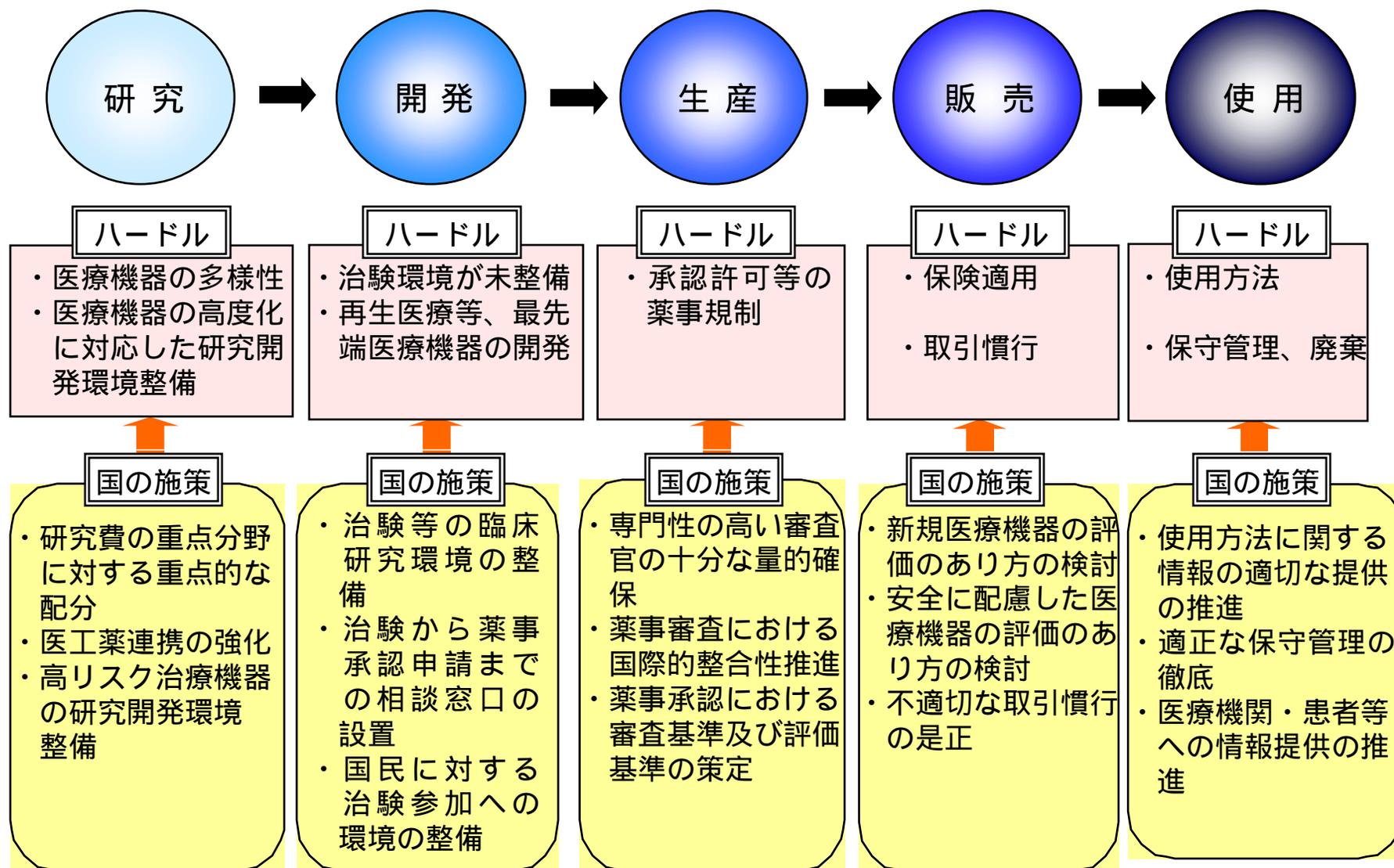
医療機器産業ビジョンのアクションプランの進捗状況を公表

医療機器産業政策の推進に係る懇談会を開催

第1回 平成16年5月31日

第2回 平成16年6月 4日

医療機器産業政策の基本的考え方



重点分野選定の考え方

基礎的研究成果を実用化に結びつける段階の研究であること

製品の成熟度が低い分野であること

今後、ニーズの増大が見込まれる分野であること

重点分野の具体例

再生医療技術を用いた医療機器

心血管系医療機器

低侵襲治療機器

バイオイメーシング機器

健診支援自動診断装置

健康フロンティア戦略（平成17年度～平成26年度）

我が国は超高齢化社会への道

10年後の平成27年（2015年）には、高齢者数が3300万人と予測
「明るく活力ある社会」を構築 と「健康寿命」の延伸

糖尿病・がん等の
疾病の罹患と死亡を減らす

要介護になることを防ぐ

働き盛り層
生活習慣病と心の健康

女性層
女性のがん

高齢者層
介護予防



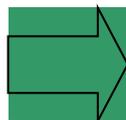
健康寿命を延ばす科学技術の振興

先端科学技術の導入と生活習慣病・介護予防研究の推進

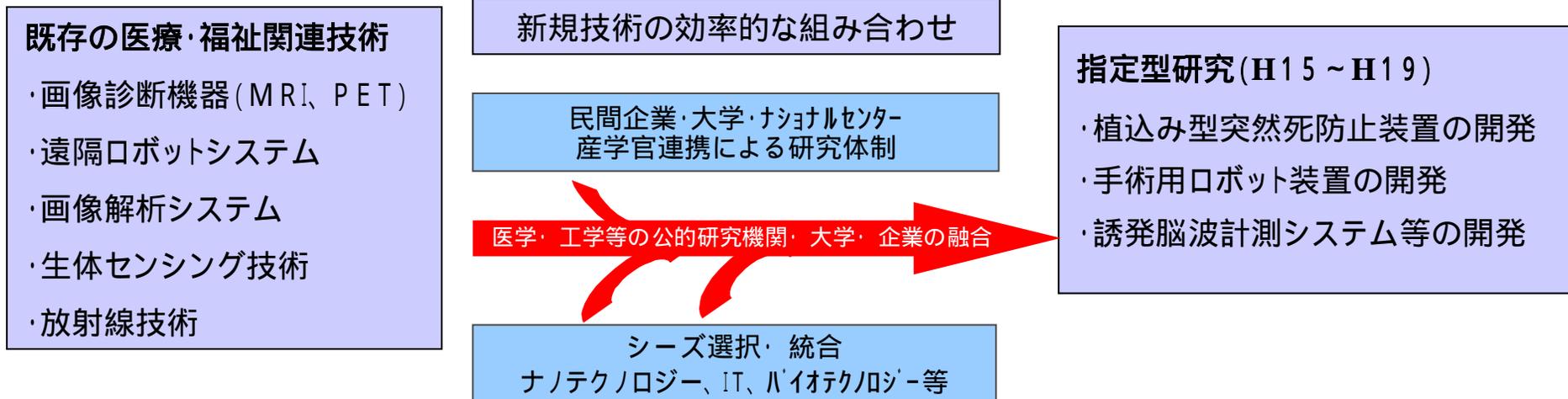
身体機能解析・補助・代替機器開発プロジェクト

人にやさしい機器の素早い開発を通じた経済活性化

平成16年度 7億円



平成17年度概算要求額 約19億円

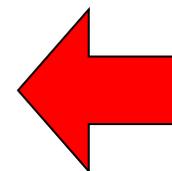


17年度の方角

昨年度からの指定研究に加え、広く公募型で産学官の連携を促す

- 研究開発分野及びテーマ(例)
- <身体機能解析分野> 分子イメージング、脳機能解析装置、被爆量低減型CT 等
 - <身体機能代替分野> 人工臓器、インテリジェント義肢、人工感覚器 等
 - <身体機能補助分野> 盲導犬ロボット、介護労力低減装置 等

公募による参画



民間企業

ナノメディシン プロジェクト(厚生労働省)

平成16年度 約13億円

平成17年度概算要求額: 24億円(府省連携プロジェクトによる更なる推進)

超微細技術(ナノテクノロジー)の医学への応用による非侵襲・低侵襲を目指した医療機器等の研究・開発を推進し、患者にとってより安全・安心な医療技術の提供の実現を図る。

超微細技術を用いた医療技術開発 (5~10年後の実用化を目途に研究推進)

超微細画像技術(ナノレベル・イメージング)の医療への応用

- 採択例 . ナノレベルイメージングによる分子の機能および構造解析(国立循環器病センター・H14~)
- . 超極限分子プローブによる組織障害の再生・治癒機構の解析と高精度局所診断技術の開発(慶應義塾大学大学院理工学研究科・H14~)

微小医療機器操作技術の開発

- 採択例 . ナノテクノロジーによる機能的・構造的生体代替デバイスの開発(国立循環器病センター・H14~)
- . テーラーメイド医療用全自動DNAチップ診断機器の開発(東芝・H16~)

薬物伝達システム(ドラッグ・デリバリー・システム)への応用

- 採択例 . ナノテクノロジーを用いた新規DDS製剤の研究開発(東京慈恵医科大学DDS研究所・H14~)
- . バイオナノ粒子による治療用生体高分子デリバリーシステムの開発(ジェノミディア・H14~)

新規

がんの超早期診断・治療システムの開発

- 例 PET等の画像診断装置及び抗体合成等の薬物伝達システムを組み合わせ、生体機能を画像化する技術の開発等

次世代医療機器評価指標ガイドラインの整備 - 実施体制（案）

